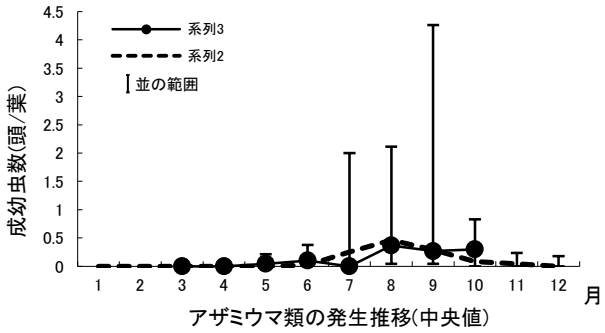
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
10 月の発生量（現況）	並		
11 月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫及びトラップの平年の発生推移、新梢の発生が終息傾向にあることから、10月より発生量は減少すると考えられる。		

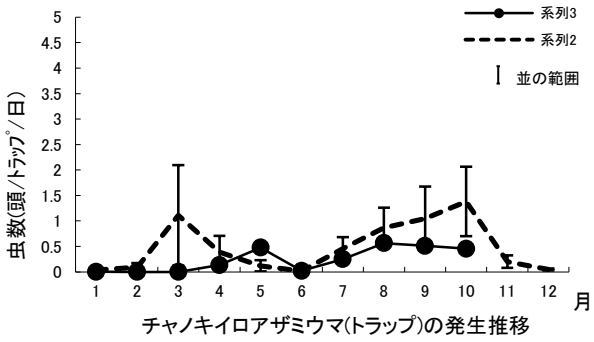
発生量の根拠（調査結果）

- 10月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数(中央値)は0.3頭（前年0.1頭、平年0.1頭)と平年並であった。
- 10月の黄色粘着トラップへの日・トラップ当たり誘殺虫数は0.5頭（前年3.7頭、平年1.4頭）と平年よりやや少なかった。

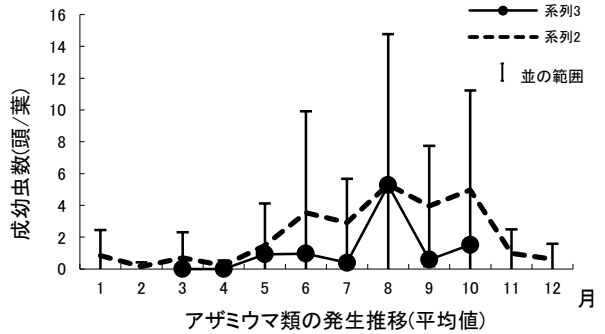
(今年のデータ)



アザミウマ類の発生推移(中央値)

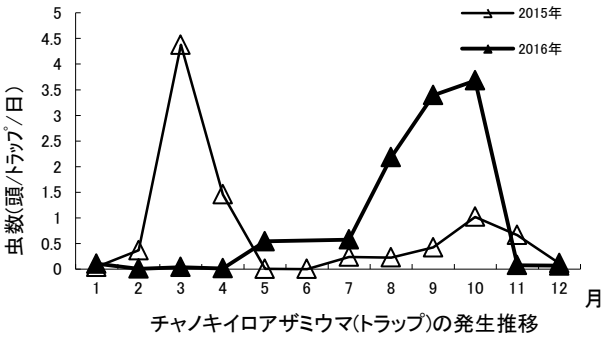


チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移



アザミウマ類の発生推移(平均値)

(過去2年のデータ)



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

・不要な新梢は早い時期に除去する。
・発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

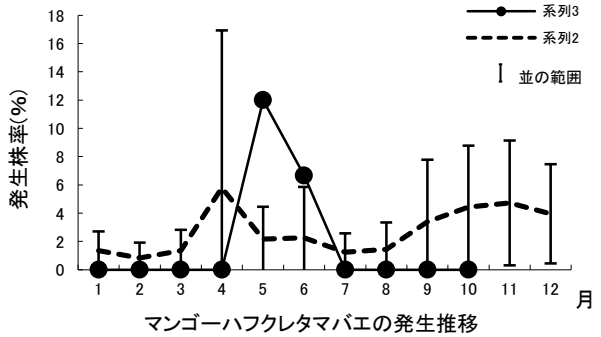
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
10 月の発生量（現況）	(発生なし)やや少		
11 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発生株率の平年の発生推移、今後１ヶ月の気温が高い見通しから、10月より発生量は増加すると考えられる。		

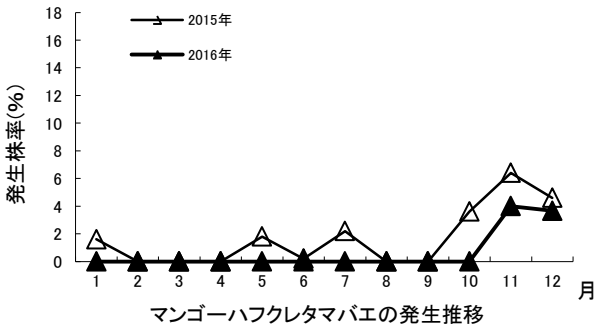
発生量の根拠（調査結果）

・ 10月下旬の調査の結果、発生株率は0%（前年0%、平年4.4%)と平年よりやや少なかった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

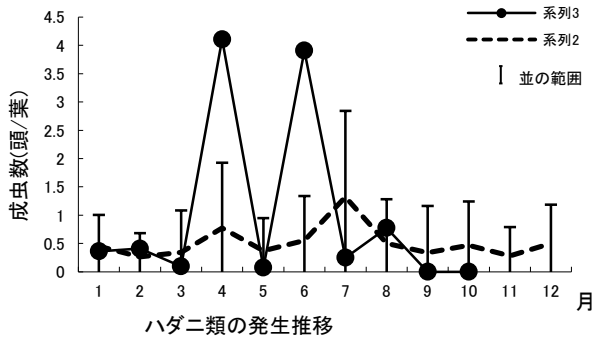
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類		
10 月の発生量（現況）	(発生なし)並		
11 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移、今後１ヶ月の気温が高い見通しから、10月より発生量は増加すると考えられる。		

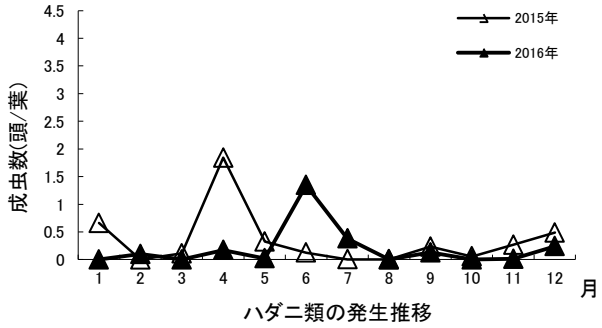
発生量の根拠（調査結果）

・ 10月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0頭（前年0頭、平年0.5頭)と平年並であった。また、新葉の葉当たり雌成虫数は０頭であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。